

2009年3月24日

各 位

古河電気工業株式会社  
(コード番号 5801)  
昭和電線ホールディングス株式会社  
(コード番号 5805)

### 建設・電販市場向け汎用電線事業の販売統合について

古河電気工業株式会社(社長 吉田政雄、以下古河電工)と昭和電線ホールディングス株式会社(社長 富井俊夫、以下昭和HD)は、本日3月24日付で建設・電販市場向け汎用電線事業の販売部門を統合することに合意しました。

それぞれの統合事業母体は、古河電工の100%子会社である古河エレコム株式会社(社長 尾熊利泰、以下古河エレコム)と昭和HDの100%子会社である昭和電線ケーブルシステム株式会社(社長 島津正明、以下昭和CS)の建設・電販市場向け汎用電線ならびに電線周辺機材の営業部門となります。

なお現在、公正取引委員会に事前相談を申請しております。

#### 1. 統合の背景と目的

国内銅電線の需要は、90年代のバブル景気(1990年度にピークの120万ト)を経て、漸減傾向(2007年度は対90年度比30%減)にあります。比較的安定した需要を有する建設・電販市場に限った場合でも、緩やかな減少傾向(1990年度の41万トから2007年度は対90年度比8%減)にあります。加えて足元は、建築基準法改正の影響による住宅着工の低迷、米国に端を発する世界同時不況による設備投資の抑制等で、暫くは大幅な需要減退の局面が継続する状況にあります。また、将来的には少子化の社会情勢も相俟って、産業振興の停滞、建設関連事業のより一層の低迷が予想されております。

古河電工と昭和HDはそれぞれにグループ内の事業改善・改革に鋭意取り組んでまいりましたが、単独での更なる収益改善は非常に困難な見通しにあるとの認識で一致し、この度、販売会社の事業統合に合意しました。これにより、両社共同の新販売会社では、各々の販売・物流拠点の整理統合・効率化を進めると共に、生産・在庫の一括集中管理を実施し、デリバリーや在庫品揃えの充実を図り、より高いレベルでのお客様サービスの向上に努めてまいります。そして、両社が持つ豊富な電線周辺機材を取扱う、『建設・電販市場における給配電関連製品の総合サプライヤー』としての特色を生かし、提案力で市場ニーズに応えてまいります。

#### 2. 事業統合の範囲

主要品種(I・V・C・V(6.6kV以下)・C・V・V・V・V・F・V・V・Rとこれらの環境配慮型電線)のブランド統合を図ると共に、これら以外の古河エレコムおよび昭和CSの両社が取り扱う汎用電線ならびに電線周辺機材の販売事業を統合します。

なお、製造会社各社は、従来通りに独立法人の形態を継続します。

3. 会社概要

商号：(仮称)古河昭和ケーブル株式会社  
略称：(仮称)SFCC (Showa Furukawa Cable Co., Ltd.)  
ブランド名：(仮称)SWCC・FURUKAWA  
資本金：未定  
出資比率：古河電工55%、昭和HD45%  
本社所在：未定  
営業開始：(目標)2010年4月1日

本件に関するお問合せ先

古河電気工業株式会社	経営企画室IR広報ユニット	TEL03-3286-3050
昭和電線ホールディングス株式会社	人事総務統括部広報課	TEL03-5532-1911

以上